

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた意見聴取）
日 時	令和 6 年 8 月 26 日（月曜） 9 時 30 分～10 時 45 分
場 所	大阪市役所本庁舎 5 階秘書課会議室
出 席 者	（特別顧問・特別参与）： 清水特別参与、寺本特別参与 （職員等）： 政策企画室（市民情報部長、広報担当課長 外）
論 点	広報紙及び令和 7 年度企画広報案について
主 な 意 見	（広報紙について） ・全区共通部分の「大阪市民のみなさんへ」は、カラフルで見やすい印象。 ・広報紙に掲載する情報のうち、例えば防災マップやお役立ち情報のようなストック情報は市民が保存することを想定して、紙面の見開きや最終面に掲載するなど工夫してみてもいいと思う。 ・広報紙のデジタル化については今後さまざまな検討がなされると思うが、デジタル化の最大のメリットは、市民がどの記事を見ているか、ログランキング等によってニーズが容易に把握できる点である。 ・デジタル化することで、他に位置情報を用いた分析や、動画での情報発信なども可能となるが、動画での情報発信であれば、広報紙にこだわらなくても YouTube や TikTok などの既存の SNS を活用した方が手間はかからないと思う。 ・スペースの制約を受けないこともデジタル化のメリットであり、紙面に載せきれなかった情報や、より深掘した情報なども WEB 版では掲載できるなど、紙面との差別化も可能。 （令和 7 年度企画広報案について） ・万博開催の年に、市の重点施策を紹介することでシビックプライドの醸成やブランド力の向上に繋がりたいということだが、例えば日本一の子育てサービスという市の方針にかかる発信について身近な視点で考えると、子どもを連れて外出しやすいまちであることが伝わるよう、あまり知られていない子育てサービスを可視化することに意義があると思う。 ・子育て施策以外でも、大阪の成長戦略に関することや、安全安心分野の取組など、まだまだ認知されていない取組を可視化することでシビックプライドに繋がれるのではないかな。 ・数字をフックとしてさまざまな施策を見せたいとのことだが、数字を単純に見せるより、受け手がその数字にリアリティを感じられるよう、インフォグラフィック化して、視覚的に分かりやすいものにすると思う。動画を使えば、よりリアリティを持たせることができる。
結 論	本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
関 係 所 属 （ 部 課 ）	政策企画室市民情報部広報担当